

デザイナーのための経済コラム(29)

ことわざに見る行動経済学・1:いろはかるた

<https://ja.wikipedia.org/wiki/かるた#参考文献>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/カードゲーム#トランプゲーム>

<https://kotonohaweb.net/iroha-karuta/>

経済学が多様に発展しているなかで、行動経済学の学説、原理、理論を見て行くと、日本人にとっては、常識のようなことがときどき見受けられます。どこの国にも教訓、生活の知恵が諺(ことわざ)として伝わっています。そのような教訓、知恵が凝縮されたものの一つが「いろはかるた」だと思います。「いろはかるた」には、日本人の倫理感、経済感覚、行動規定のようなものが詰まっていると思います。「かるた」と呼ばれるように、その起源はポルトガル人が日本に、鉄砲の伝承とともにさまざまなヨーロッパ文化を持ち込んだときの「カードゲーム」にあるのかと推測します。

「いろはかるた」には大きく分けて、3つのバージョンがあるようです。

1つ目は江戸の「武士社会」を背景にしたもの、2つ目は京都の「公家社会」を背景にしたもの、3つ目は大阪の「商人社会」を背景にしたものと言われます。

日本の文化、技術、産業の基盤となっていた識字率の高さも「いろはかるた」の普及によることがあるのではとも考えます。そのまた基盤となっていたのが、「万葉集」以来の和歌、俳句の七五調の語感リズムと、日本語の表記文字、文字数にあると思われれます。漢字だけ、アルファベットだけでは困難です。

「交通安全いろはかるた」、「防犯いろはかるた」、「〇〇いろはかるた」というふうに、「かるた」の様式は、難しい原理や法則、倫理を簡単な言葉で誰にでもわかりやすくすることにあります。いまや、いろんな分野で作られています。

【い・ろ・は・に・ほ】

犬も歩けば棒に当たる(江戸)	良いことも、悪いことも、歩けばチャンスがある。
芋の煮えたも御存知ない(江戸)	箱入り娘。世情に疎い。世間知らず。
一寸先は闇(京都)	先のことは予測できない。ブラックスワン。
鯛の頭も信心から(京都)	宗教・信心の恣意性。
一を聞いて十を知る(大阪)	少量の情報からでも推測、推量は可能。
炒豆(いりまめ)に花が咲く(大阪)	あり得ないことが起きる。ブラックスワン。

論より証拠。(江戸)	エビデンスで議論せよ。データファースト。
論語読みの論語知らず(京・大阪)	表示意味:含蓄意味。意味論。
六十の三つ子(大阪)	過去の経験に引きつられる。ヒュリスティックバイヤス。

花より団子(江戸・大阪)	見栄を張らず、実質的に。名よりも実。プラグマティズム
針の穴から天を覗く(京)	判断するための情報が限定されること。トンネル効果

憎まれっ子世に憚る(江戸)	犯罪は決してなくなるしない。
二階から目薬(京)	効果の無い行為。無駄な事。
憎まれっ子頭堅し(大阪)	悪いことをする人はずる賢い。

骨折り損のくたびれ儲け(江戸)	見切りを付ける必要。時間のロス。
仏の顔も三度(京)	人間の忍耐には限界がある。
惚れたが因縁(大阪)	経済合理性ばかりではない。

一見は百聞に如かず
一寸の虫にも三分(五分)御部の魂。
一将功なりて万骨枯る
一念発起山をも動かす
一文惜しみの百知らず
一銭を笑う者は一銭に泣く
一宿一飯の恩義
一筆啓上 火の用心
お仙泣かすな 馬肥やせ
一か八か
一難去ってまた一難
石橋を叩いて渡る。
急がば、回れ。
痛みを知らずに得るものはない
いつまでもあると思うな親と金
“いつか”は一生涯来ることはない。
石の上にも三年。
井の中の蛙、大海を知らず
いの一歩
今の情けは後の仇
医者の不養生
一石二鳥
一期一会
因果応報
労多くして効少なし
六十の手習い
ローマは一日にして成らず
老木に花が咲くように
ランナーズ・ハイ
練習が完成を作る
背水の陣を敷く
はじめの一歩
齒に衣着せぬ
ハサミとバカは使いよう。
花(風姿花伝)
働かざる者は食うべからず
白髪三千丈(中国)
蜂の巣をつつく
馬耳東風
八方美人の役立たず
早起きは三文の徳
裸の王様
万事豆腐
張子の虎
晴れない雨はない
晩節を汚す
逃がした魚は大きい
二兎を追うもの、一兎も得ず
逃げるが勝ち
二度あることは三度ある
二番目の考えが最高
人間万事塞翁が馬
坊主憎ければ、袈裟まで憎い。
惚(ほ)れたのが運の尽き
惚れてしまえば千里も一里
惚れた目に痘痕(あばた)も醫(えくぼ)
仏の前に鬼が棲む
臍(ほぞ)を噛(か)む

視覚化。実証主義。
小さいもの、弱いものにも意地がある。悔るなかれ。
一人の成功者の陰には多くの犠牲者がいる。
決心あつての行動。
損失回避バイアス。
取るに足りないものが必要な際になくて惜しいこと。
イスラムの喜捨。托鉢僧への布施も当然。ドネーション。
伝えたい事を簡潔に言い尽くされていること、
主旨は簡単明瞭に。
運を天に任せてやってみること。チャンスオペレーション。
次から次と困難なこと、嫌なことが起きることもある。
念には念を入れ、慎重に事に当たる。危機管理。
急ぐと集中力、注意力が低下する。二度手間になる。
商品・サービスにはコスト(労働・苦勞・費用)が必要。
栄枯盛衰、勝者必衰、生老病死、万物流転。経済の流動性。
怠慢・不作為。動機付け・インテシブ(intensive)。
各種の機械運転、技術の取得に必要な時間。リードタイム。
トンネル効果。セレンディピティの勧め、世間を知れ。
何を置いても、まず最初に。最優先。
栄枯盛衰、勝者必衰。技術指導・技術移転。
専門家、ベテランは自分のことに気を付けない。
相乗効果、シナジー。
チャンスオペレーション。偶然の活用。
要因分析。原因と結果の関係分析。
最小努力最大効果。コストパフォーマンスが悪いこと。
長寿化への備え。柔軟な行動変容。
長期的な貯蓄と投資の成果。
TPO。高齢だからこそできることがある。
runner's high. メンタリティの管理。
Practice makes perfect. 日常的な改善活動。
後戻りをしない決心をする。メンタリティ管理。
The first step is always the hardest.優先順位。
思ったとおりをずけずけと言う。
知識情報も使い方が間違っているには役に立たない。
演技の魅力、見せ場、見せ所。
労働価値=貨幣価値、キャピタルゲイン≠労働価値。
針小棒大。AIDMA。
騒ぎを起こす。問題提起。
価値観を共有できない。認識格差。
何でも屋の不経済・比較優位。
企業努力。
誰からも忠告をもらえない人。
どのような環境変化にも適応する順応性。
何も恐ろしいものではない、見掛け倒し。フェイク。
楽観主義。景気の周期性。
(晩節を汚すことなかれ)、終わりよければすべてよし。
サンクコスト。済んでしまったことを悔やんでもムダ。
重点指向。分散と集中の選択。
戦略的撤退。ダウンサイジング。
三度起きる確率が高い。
二番目にも十分に価値がある。
悪いこともいいことも状況で変わる。
関係のあるもの、ないものとの区別がつかない。過剰反応。
経済活動は経済的合理性(損得)だけでは動かない。
経済活動は経済的合理性(損得)だけでは動かない。
経済活動は経済的合理性(損得)だけでは動かない。
善意の人を利用する周囲の人に、偽善、悪意があるかも。
失敗を悔しがる。覆水盆に返らず。サンクコスト。

(以上・T.K.)